

おいでよ！鹿島



鹿島の植物とシカ

野生シカが生息していた当時の鹿島のクスノキやシイの木は、よく見ると、切りそらえたように高さ約1.5m以下には枝葉がなかった。それは、鹿が根元の樹皮をはがして食べた結果であり、その高さをデリアーラインと呼ぶ。登山道や周遊道で普通に見かける植物のうち、シカの口が届く範囲のもので残っているのは、ナンキンハゼやカッコウアザミなどシカが食べない外来種であった。現在、野生のシカの餌不足や島の環境を食害から守るため、鹿園で島内のシカを全頭保護し、森林生態系の保全を図っている。

パンフレットの利用にあたって

- 四季によって移り変わる自然を感じてみましょう。
- 鹿島の生き物を探して、観察してみましょう。
- 動物や植物は、傷つけたり採ったりしないようにしましょう。
- 自然に親しむためのパンフレットは忘れず持ち帰りましょう。
- 自然を知って、みんなで自然環境を守っていきましょう。



鹿島渡船利用案内

〈お問い合わせ先〉
渡船待合所 ☎089-992-1375

●鹿島渡船運航時刻表

北条発	4月～10月	11月～3月
7時～17時	03分、23分、43分	03分、33分
18時～20時	03分、33分	03分、33分
21時	03分*、33分*	

鹿島発	4月～10月	11月～3月
7時～17時	00分、20分、40分	00分、30分
18時～20時	00分、30分	00分、30分
21時	00分、30分*	00分
22時	00分*	

※21時03分、21時33分の北条発、21時30分、22時00分の鹿島発の便は7月第2土曜日から8月31日のみ運航します。



●周遊船運航時間

期間	時間	予約
7月第2土曜日～8月31日	10時37分～日没まで	予約の必要はありません。
上記以外	10時37分～日没まで	要予約

※2名以上で運航。一周約30分。

北条鹿島博物展示館(愛称:かしまーる)

〈お問い合わせ先〉
☎089-993-1026

開館時間	8時30分～17時30分
休館日	無休

発行:松山市

協力: NPO法人森からつづく道・小川次郎・風早活性化協議会
お問合せ

- ・生物多様性に関すること 環境モデル都市推進課 TEL 948-6434 FAX 934-1861
- ・希少動植物に関すること 環境指導課 TEL 948-6439 FAX 934-1812
- ・鹿島の渡船・施設に関すること 観光・国際交流課 TEL 948-6558 FAX 943-9001
- ・北条地域の地域振興に関すること まちづくり推進課 TEL 948-6991 FAX 934-1821



このパンフレットの印刷において必要な電力の100パーセントを松山市の太陽光発電施設で発電したグリーン電力を使用しました。
Printed by SEKI Co.,Ltd.

発行年月日: 令和3年3月



Microlepia strigosa



Graphium sarpedon



P. frutescens var. citriodora



Narathura bazalus



Balcanocerus myroxyli



Cervus nippon



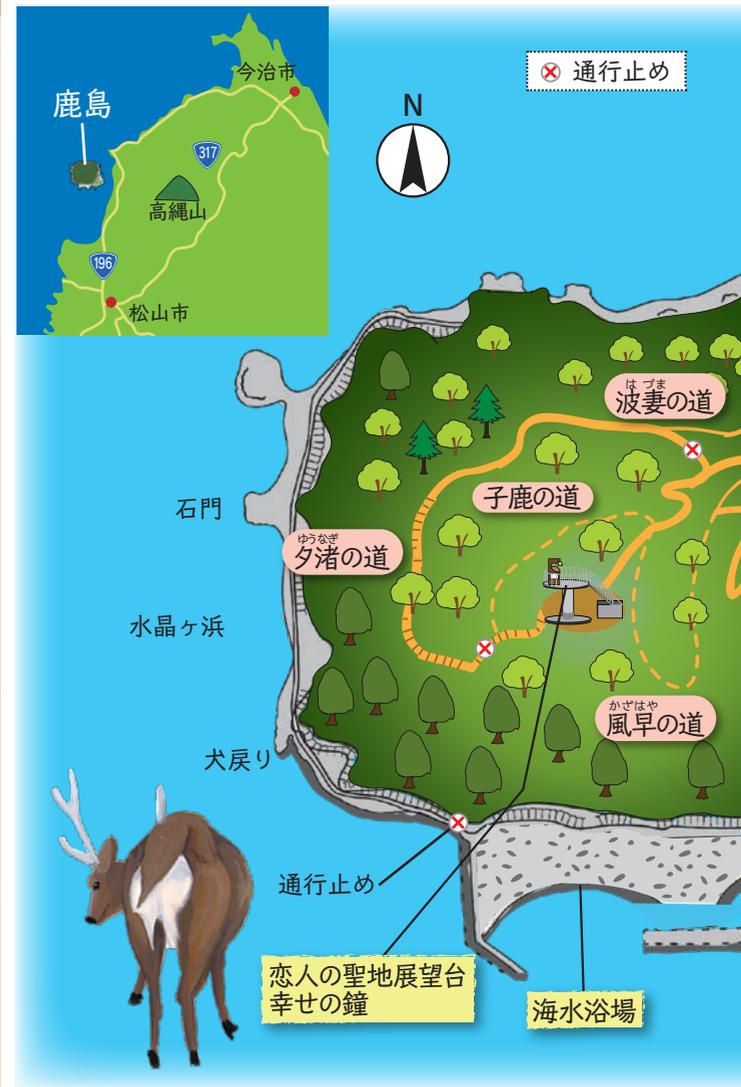
Ardea cinerea



Gekko tawaensis

自然観察マップ

北条鹿島かしま



鹿島ってどんな所?

鹿島は、松山市北条港の沖合い約400mにある周囲1.5kmの小島。島全体が瀬戸内海国立公園に指定されている。島の大部分はクスノキなど照葉樹林で覆われており、林内にはナンゴクウラシマソウやムサシアブミなど多種の暖地性植物が生えている。古来より島の名の由来となった野生のニホンジカ(県指定天然記念物)が生息していたが、現在は、全頭、シカ園で保護飼育されている。標高114mの山頂までは登山道が整備されており、山頂展望台からは忽那諸島を一望できる。